

📖 コンセプト

効率性や即効性が求められる時代、人々は社会の波に流され、自分自身を見失いがちです。

忙しさに追われ、立ち止まることを忘れてしまう日々。

しかし、本当に大切なのは、時には足を止め、一人で自分を見つめる時間を持つことではないでしょうか。

その時間こそが、心を静め、本来の自分に向き合うきっかけとなるのです。

本は、そんなひとときを彩る特別な存在です。

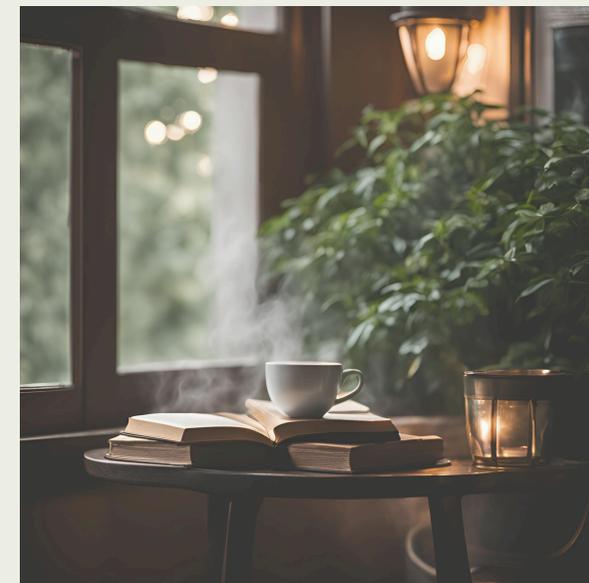
ページをめくるたびに、私たちの心に問いを投げかけ、気づきを与えてくれる。

何を望み、何を大切にしたいのか。

ある一冊に込められたメッセージが、あなたの中に眠る想いや価値観をそっと引き出してくれるのです。

ここは、自分と語り合うための静かな時間を紡ぐ場所。

数多の本が寄り添うこの空間で、あなたらしい一歩を見つけてみませんか？



自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～



解決したい課題



過剰な効率追求

効率を最優先する社会では、過程を楽しむ余裕や深く考える時間が削られ、心の豊かさが失われている。



自己の喪失

多忙な日々や社会の期待に応える中で、自分が本当に大切にしたい価値観や目標を見失ってしまう。



思考停止

情報があふれる現代では、自分で考える時間を持たず、与えられる情報を受け入れるだけの「思考停止」に陥りやすい。

自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～



コンセプトを実現するための3つの機能

前項で示した課題をブックカフェという空間の提案でどのように解決することができるか。

1

静寂と集中

…読書や自己対話に集中できる環境を提供するための工夫。

2

リラックスと癒し

…心身のリフレッシュをサポートするための仕掛けやデザイン。

3

発見と体験

…利用者に新しい本との出会いや自己を再発見する楽しみを提供。

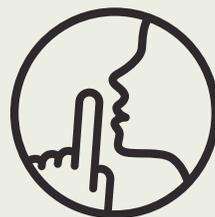
自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～

各機能について

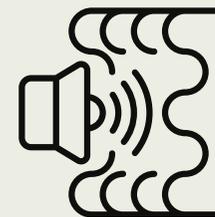
1 静寂と集中



座席の個別間仕切り



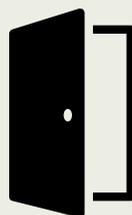
私語は原則禁止



音響吸収素材を使用



耳栓の貸出



静音開閉式ドア

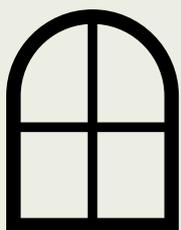


時間制利用システム

自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～

📖 各機能について

2 リラックスと癒し



自然光を取り込む設計



観葉植物の設置



香りの演出



柔らかい間接照明



夜間キャンドル風ライト

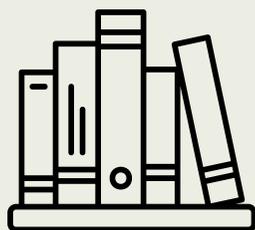


スローな音楽の選曲

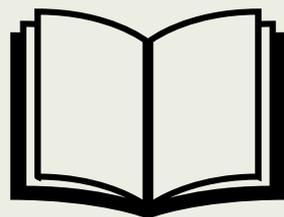
自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～

各機能について

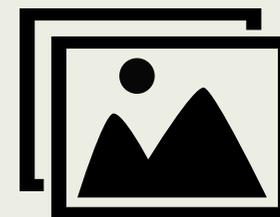
3 発見と体験



棚ごとのテーマ設計



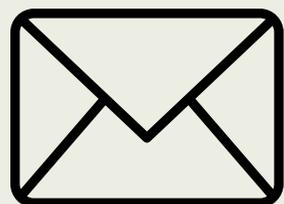
訪問者交流ノート



ギャラリースペース



各座席にランプを設置



未来の自分へのレターセット



読書記録手帳の配布

自分と向き合う静寂の場 ~ブックカフェ設計提案~

空間設計のポイント

「静寂の中で自己との対話ができる場所」を作るため、以下のポイントを主軸に設計する。



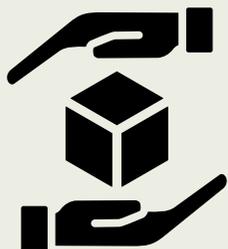
色調

落ち着きと温かみを感じるアースカラー
(ベージュ、ブラウン、グリーン)を基調。



音

足音や話し声が反響しないよう、吸音素材を
天井や壁に取り入れる。



素材

天然木、布、漆喰、金属フレームを組み合
わせたナチュラル&クラシックな質感。



香り

柔らかなアロマ (ラベンダーやヒノキ) を使
用し、リラックスを促進。



照明

柔らかい間接照明で目に優しく、時間を忘
れられる空間に。



体験

利用者が自然と「本を選ぶ・読む・考える」
のサイクルに入れる動線設計。

自分と向き合う静寂の場 ～ブックカフェ設計提案～



ゾーニング計画

■レイアウト

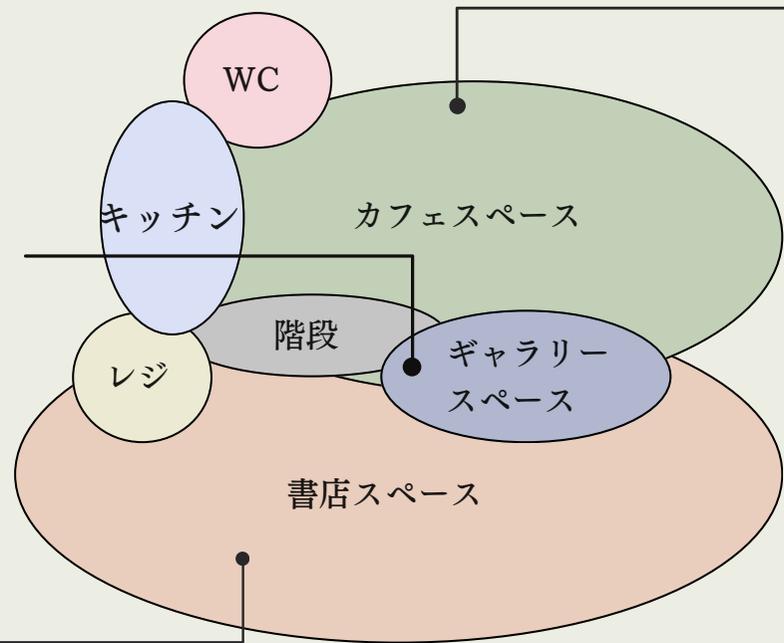
- 壁一面にレールシステムを取り付け、アートや写真を簡単に掛け替えられる仕様に。

■素材

- 壁面はシンプルな白やライトグレーで、作品を引き立てるキャンバスのように。

■照明

- 天井のレールライトに可動式スポットライトを取り付け、作品に焦点を当てる。



■レイアウト

1. 入口周辺

- 扉を開けると正面に高めの書棚を配置し、視覚的なインパクトを与える。
- 左右の壁沿いにジャンル別の書棚を設置。通路は幅広く開放的に。

2. 書棚デザイン

- ジャンルごとの選書テーマ (例:エッセイ、詩、哲学、アートなど) を明示する小さな木製プレートを棚上部に配置。
- 壁面書棚: 天井まで届く高さのあるものを採用し、空間に包み込まれる感覚を与える。
- 中央書棚: 腰高の棚を使用し、視界を遮らず回遊性を高める。

3. 階段手前にレジ

- 書店エリアとカフェスペースの境界にナチュラルなデザインのレジカウンターを設置。

■照明

- 書棚の上部に間接照明を仕込み、柔らかい光で本が映えるように (紫外線の少ないLEDライト)。

■レイアウト

1. カウンター席

- 壁際に2席分のカウンターを設置し、木製カウンターテーブルを採用。
- 各座席の間をレースのカーテンで緩やかに仕切る。

2. 一人用席

- 壁面に沿って間隔を空けた4席を配置し、適度なプライバシーを確保。
- 席ごとに小型の読書ランプを設置し、各利用者が心地よい明るさを調整可能に。

■アクセント

- 各座席の間に観葉植物を置き、自然の静けさを演出。

■素材と装飾

- 壁には漆喰や木を使ったテクスチャーのある仕上げ。
- シンプルなテーブルとチェアで統一感を持たせ、派手な装飾は避ける。

■照明

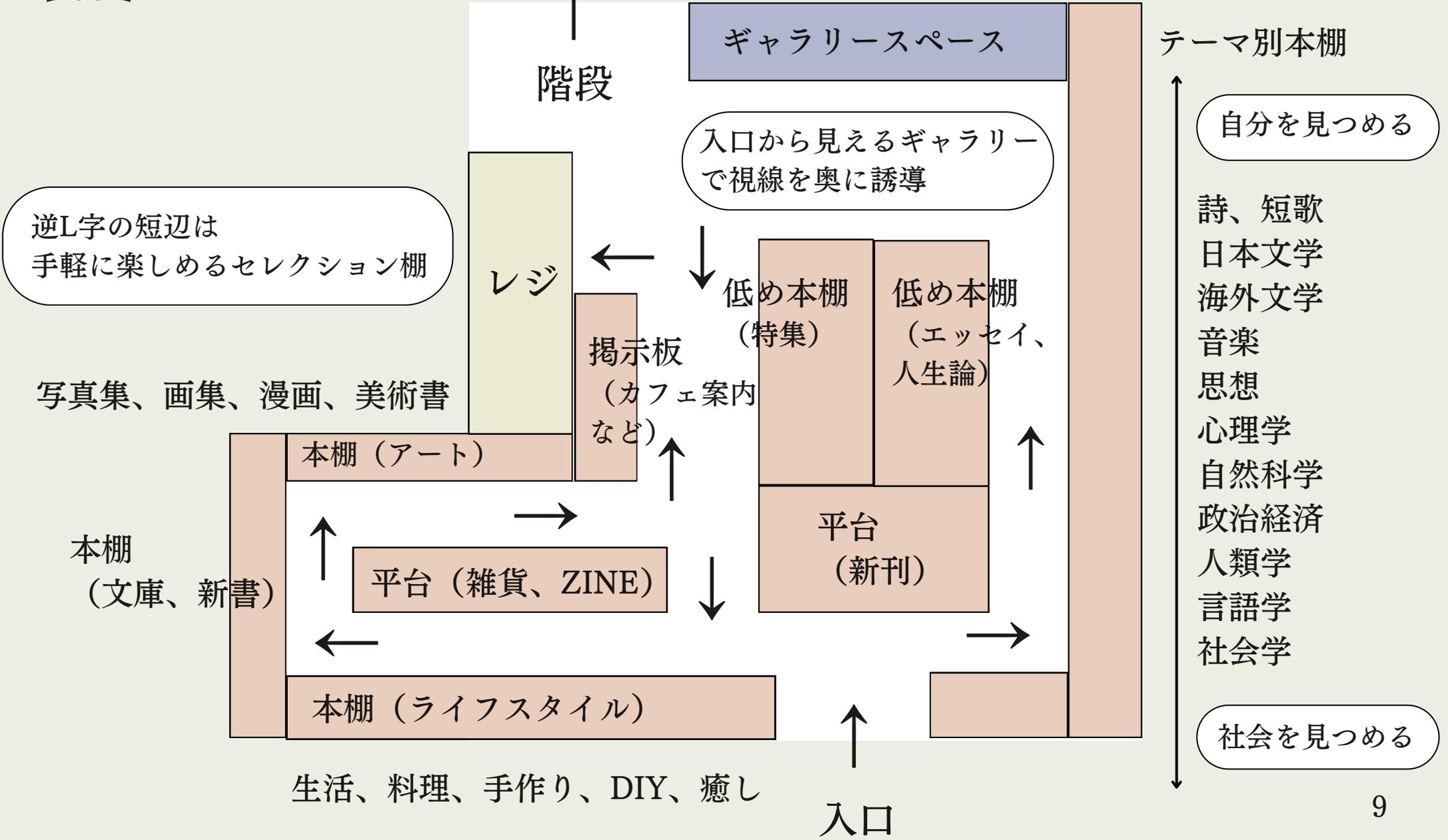
- ペンダントライトを各席の上部に設置し、柔らかい光で読書をサポート。
- 窓からの自然光を最大限活用し、昼間の時間帯は照明を控えめに。
- 夜はキャンドル風のランプを灯す。ゆらめく光によって、日中の喧騒から隔絶された空間を演出。

自分と向き合う静寂の場 ~ブックカフェ設計提案~

逆L字の長辺は
深く探究できるテーマ別棚

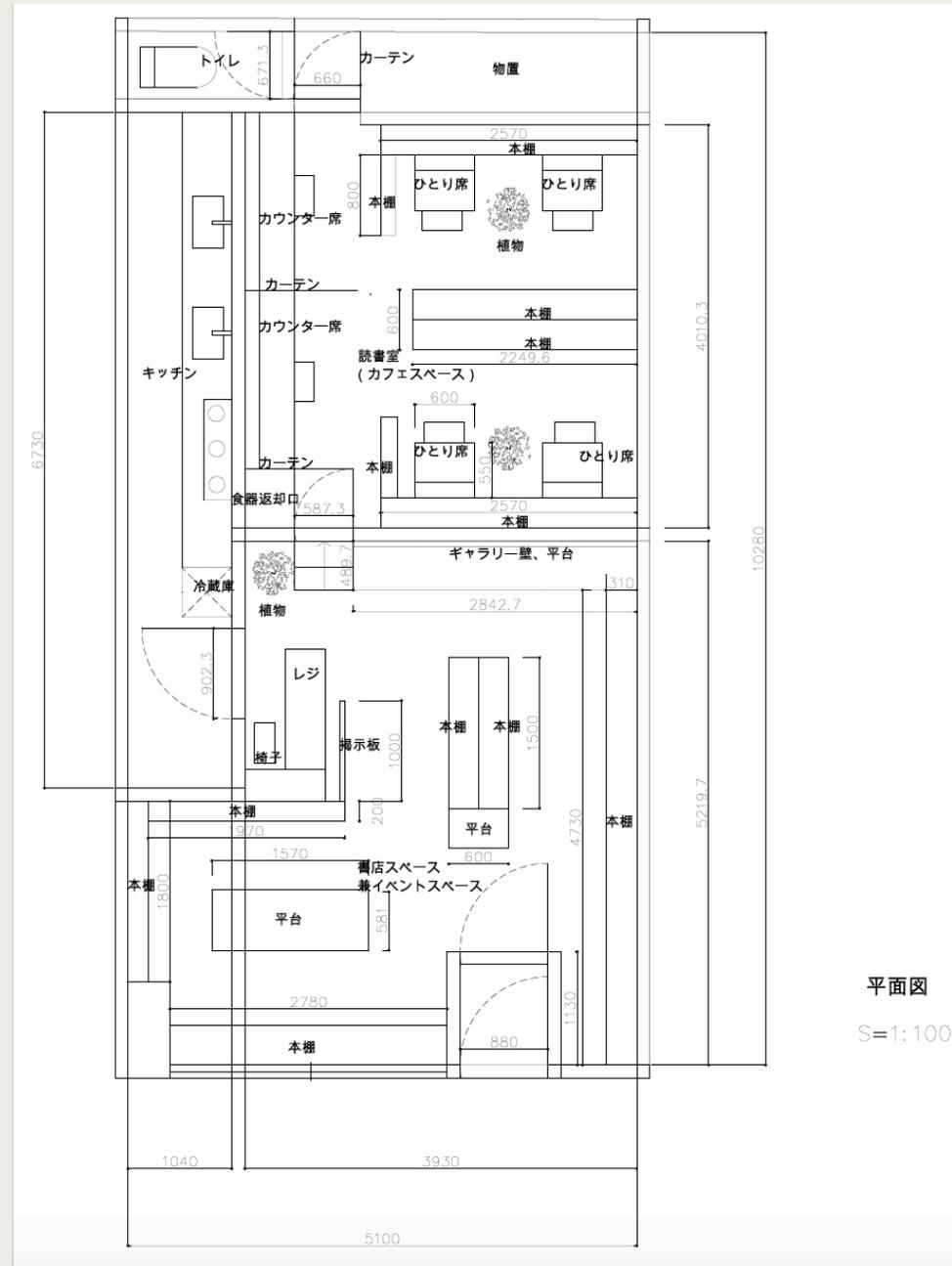


書店の動線計画



自分と向き合う静寂の場 ~ブックカフェ設計提案~

図面



平面図
S=1:100